

事務事業名	水道事業経営基盤向上事業		会計	水道事業	実施区分	継続		
			事業種別	経常	開始	23 終了		
H29作成課等名	経営管理課	H29係等名	上水道経理係		H28担当課等名 経営管理課			
基本計画上の位置づけ	政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり					
	施策	45	居住基盤の向上					
目的	対象(誰・何を)	水道事業会計(簡易水道事業特別会計)		対象指標	指標名及び単位		28年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	適正な収益の確保、経費の削減により、安定した経営を継続する			営業収益(受託工事収益除く、単位:千円)	1598944		
	向上させたい上位施策の成果指標	営業収支比率 100%以上、経常損失比率 0%			営業費用(受託工事費用除く、単位:千円)	1703189		
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	営業収支比率(%)		95	91.9	95	93.8	
	成果指標	経常収支比率(%)		107.6	107.4	110	111.2	
定性目標								
事業概要	これからの水道事業(簡易水道事業含む)は、人口の減少に伴う収益の減少や既存施設の老朽化に伴う更新需要の高まりなどの環境を背景に、厳しい経営状況が予測されている。今後、適正な料金設定をはじめとし、創意工夫による収益確保策や経費削減策を進め、健全で良好な経営を継続していく。							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	1. 水道事業長期整備計画(水道ビジョン)の見直し			期間		6~3月		
	2. 簡水統合の準備			期間		6~3月		
事業コスト	27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①	0	500	162	0	H27:0予算 H28:企業会計システム改修			
国庫支出金								
県支出金								
起債								
その他								
一般財源		500	162					
人件費計(千円)②	0	107	107	0				
正規職員所要時間		30	30					
臨時職員所要時間								
総事業費①+②	0	607	269	0				
事業内容・目標達成状況の振り返り	料金収入は年々減少傾向にあり、「営業収支比率」は100以下(赤字)となっている。今後は長期的な経営見直しをもって、100%以上になるよう取り組みたい。また、「経常収支比率」は営業収支に営業外収支を加えたものの比率であるが、支払利息の減少などにより100%以上(黒字)とすることができた。							
改革改善の考え方	①問題点	1. 人口減少等により料金収入は年々減少しているが、今後は老朽施設改修等の経費が増大していくため、厳しい経営状況になることが予想される。 2. 簡易水道の法適化(水道事業への統合)の要請に対する対応が必要な状況となっている。						
	②改革提案	1. 長期的な展望に立って事業を再編するとともに、適正な時期に適正な料金設定を行っていく。 2. 簡易水道事業は水道事業と会計統合することにより、平成29年4月1日から法適化した。						